

平成 26 年度後期（第 4 回）12 月実施  
キャリア・コンサルティング技能検定

# 1 級 実技（論述）試験

実施日 ◆平成 26 年 12 月 14 日（日）

試験時間 ◆14：30～16：30（120 分）

## ★注意事項★

1. 本試験の出題は、必須問題（共通事例）と選択問題（分野別事例から選択）です。事例を読み、必須・選択問題それぞれ指定された解答用紙の設問ごとに記述してください。選択問題は、解答用紙の選択した分野に必ず○を記入してください。記入漏れがあった場合採点されません。
2. 解答用紙に受検番号を記入し、受検者シールのバーコードシール 1 枚を指定の位置に必ず貼付してください。記載漏れおよび貼り忘れがあった場合は採点されません。
3. 試験中は、受検票、腕時計、筆記具（鉛筆・ペン・消しゴム）以外のもの（定規・メモ用紙・筆記具入れ等）は机の上に置かず、カバンの中などにしまってください。
4. 受検票は、机の上の通路側に見えるように置いてください。
5. 試験中は携帯電話、スマートフォンなど全ての通信機器及び電子機器は一切使用できません。必ず電源を切って、カバンの中などにしまってください。  
時計のアラーム等、音の出る機能も使用できません。
6. 試験中は、落丁・乱丁・印刷不鮮明に関する質問以外はお受けできません。
7. 不正行為があったときは、すべての解答が無効となります。
8. 試験終了の合図が告げられたら、直ちに筆記具を置き、試験監督者の指示に従ってください。
9. その他、試験監督者の指示に従ってください。指示に従わない場合は失格となります。

## 【退席時の注意事項】

1. 試験開始後 30 分経過した時点で途中退出できます。途中退出する場合には、挙手し、試験監督者の指示に従ってください。問題用紙はお持ち帰りください。
2. 試験終了時刻 5 分前からは退出できません。試験終了後、試験監督者が解答用紙を回収しますので、着席したままお待ちください。

○実技試験の合格は、論述試験および面接試験の両方とも合格基準に達することが必要です。

○平成 27 年 3 月 19 日（予定）に受検者全員に合否通知書を送付いたします。

合格者は当協議会のホームページに受検番号を掲載してお知らせします。

(<http://www.career-kentei.org/goukaku/>)

厚生労働大臣指定試験機関

特定非営利活動法人キャリア・コンサルティング協議会

〒105-0011 東京都港区芝公園 1-6-8 泉芝公園ビル 5 階 TEL03-5402-5588

☆☆ 解答にあたっての注意事項 ☆☆

1級実技(論述)試験の問題は、**必須問題**と**選択問題**です。

**選択問題は、企業分野、需給調整機関分野、教育機関分野の3分野の事例から1つ選び、選択問題の解答用紙に選択した分野を○で囲んでください。(○がついていない場合、採点されません)。**

必須問題、選択問題それぞれ指定された解答用紙の設問ごとに解答を記述してください。

なお、事例は、事例相談者(キャリア・コンサルタント)が相談者に対してキャリア・コンサルティングを行った結果をもとに、事例相談者が事例指導を受けるためにまとめたものです。

**事例1【必須問題】**

事例相談者：キャリア・コンサルタント 女(40歳)

相談者：A(男：56歳)

**事例2【選択問題：企業分野】**

事例相談者：キャリア・コンサルタント 男(40歳)

相談者：B(男：32歳)

**事例3【選択問題：需給調整機関分野】**

事例相談者：キャリア・コンサルタント 女(45歳)

相談者：C(女：46歳)

**事例4【選択問題：教育機関分野】**

事例相談者：キャリア・コンサルタント 男(33歳)

相談者：D(女：21歳)

この事例に登場する人物、団体は、本技能検定用に作成したもので、実在のものとは何ら関係ありません。

解答にあたって、**解答用紙の裏面をメモ書き用として使用することは可能です。**なお、裏面に記載されたものは採点対象にはなりません。

◇試験問題で使用される用語について

**事例相談者**とは、キャリア・コンサルタントのことを指し、相談者の希望に応じて実施されるキャリアに関する相談とその支援を行う者が、自分が実施したキャリア・コンサルティングに関して相談をするものを指します。

**相談者**とは、自らの進路相談、職業相談、人事労務に関する相談など、キャリアに関する問題を抱え、キャリア・コンサルタントに相談に来た者であり、事例に登場するものを指します。クライアント、クライアントと同意語として使用しています。

## 事例 1 : 【必修問題（全員解答）】

次の文章は、事例相談者（キャリア・コンサルタント：女性 40 歳、相談歴 1 年）が事例指導を受けるためにまとめた事例である。この事例を読み、以下の問いに答えなさい。解答は指定された解答用紙（必修問題）に記述すること。

相談者：A（男：56 歳）、会社員（食品メーカー勤務）

家族：妻（52 歳、専業主婦）、長男（大学 3 年生）、長女（大学 2 年生）

相談月：12 月

### 【来談経緯】

Aさんは大学卒業後、食品メーカーに勤務して 33 年。仕事は一貫して百貨店・スーパー等に対する営業を担当してきた。12 月初めに上司に呼ばれ「若い人に活躍の場を与えたいと思う。また、社内で A さんを受け入れたいという他の部署がなかったので、来年から子会社に出向して欲しい。」と伝えられた。全く理解できないという訳ではないが、気持ちの整理ができなくてキャリアセンターに相談に来た。

### 【面接経過】（ ）内はキャリア・コンサルタントの発言、「 」内は相談者の発言

Aさんは先日上司に呼ばれて「若い人に活躍の場を与えたいので子会社に出向してくれ」と言われたと話した。自分なりに一生懸命やってきたという思いもあるが、上司に言われた事もわからなくはない、でも整理がつかずどうすれば良いか相談したいとのことだった。

（今後の働き方についてのご相談ですね。）

「はい。今まで 33 年間それなりに一生懸命に働いてきました。抜群の成績だったとは言えませんが、お客さんの要求やクレームにしっかり対応して信頼感を得てきたと思っています。そんな時に上司から『若い人に活躍の場を与えたいと思う。社内の他の部署に確認したけど受け入れは難しい。申し訳ないが、子会社に出向してくれ』とのことでした。まあ、先輩達も私くらいの年齢になると出向している人がいるので、全く理解できなくもないのですが。」

（そうですね。出向について、ご自分の年齢ではしょうがないかと理解しつつも、突然のお話で戸惑っておられるのですね。奥様にお話はされたのでしょうか。）

「妻にはまだ、話はしていません。うちには、まだ大学生の子供が二人いるのでまだ学費もかかるし、どうしたら良いか。」

（そうですね、それは大変ですね。お子さんはあと何年で卒業ですか？）

「確か…、下の子は大学 2 年生だったと思います。上の子もちゃんと就職活動しているのかどうか…。それに、出向自体も不安ですが、今回の私の話は“1 か月後には子会社に出向して、その 1 年後に転籍”という事になっているようです。詳しい事は良くわかっていないのですが、そのあたりがよく理解できていないのです。」

（出向されたあと、1 年後に転籍というお話があるのですね。）

「はい。出向だと今と同じで土日が休みなのですが、転籍になると休日も変わるみたいで

し、場合によって給料やボーナスの水準も変わるかもしれない、とのことです。」

(そうですか、そうなるとちょっと不安ですね。)

「はい。まあ、仕方ないことだとは思いますがね。確かに若い人に道を譲ることも必要だと思いますし。でも、上司にそれを言われたときはショックでした。まあ、気持ちを切り替えないといけないのかなと思います。ただ、転籍というのはどういうものなのかよくわからなくて。上司にも聞きづらいですし。」

(そうですね。お父さんとしてはお子さん2人をしっかり社会に送り出す必要もありますし、気持ちを切り替えるということも大事なことです。)

「はい。子ども2人が学校を卒業し、きちんと就職するまでは親の責任だと思っています。そのためには収入面も大事なんです。」

(そうですね。出向であれば、今の会社の就業規則が適用されると思いますが、転籍になると、新たな会社の就業規則が適用されると思います。そうすると、場合によって休日も報酬も新しい会社の水準になるかもしれないですね。)

「やっぱり、そうなんですか。」

(出向・転籍についてわかっておいた方が良いですね。私も、十分な知識を持っている訳ではないので、早急に調べたいと思います。明日までには調べておきますので、明日もう一度来られますか?)

「明日ですか…、そうですね、たぶん大丈夫だと思います。」

翌日、約束の時間にAさんから電話が入り「急用で行けなくなった。また連絡する」とのことだった。その後の連絡はない。

### 【所感】

キャリア・コンサルタントとしては、悩んでいたAさんの気持ちに寄り添い、今回の件について十分納得できているわけではないが、前向きに受け止めようとしていることは理解できた。そして、出向・転籍について「明日までに調べる」と約束したため、面談終了後に先輩キャリア・コンサルタントの面談記録を検索し、「出向」「転籍」について記述されていたいくつかの記録を参考にすることができたので、翌日の面接ではしっかり説明できる自信があった。それだけに、Aさんの再訪がなかったことは残念である。

- 問1 この相談者Aについて、どのような問題があるか、あなたの考えをその根拠を含めて記述せよ。(15点)
- 問2 この事例相談者の相談者Aへの対応について、どのような問題があるか、あなたの考えを記述せよ。(15点)
- 問3 あなたが、この事例相談者の立場なら相談者Aに対してどのように対応するか、あなたの考えを記述せよ。(20点)

## 事例 2：【選択問題（企業分野）】

次の文章は、事例相談者（キャリア・コンサルタント：男性 40 歳、相談歴 2 年）が事例指導を受けるためにまとめた事例である。この事例を読み、以下の問いに答えなさい。解答は指定された解答用紙（選択問題）に記述すること。解答用紙（選択問題）の選択した分野は「企業分野」を○で囲むこと（○がついていない場合、採点されません）。

相談者：B（男：32 歳）、WEB デザインの専門学校卒業後、中堅の建築設計会社に勤務  
家族：妻（32 歳、専業主婦）、長男（2 歳）

### 【来談経緯】

B さんは、入社後 5 年間、WEB デザインの技術者として従事し、その後、事業推進室に異動。社内のキャリア相談室に、希望面談で来訪した。

### 【面談経過】（ ）内はキャリア・コンサルタントの発言、「 」内は相談者の発言

B さんは、WEB デザインの専門学校を卒業して、建築設計会社に入社した。配属先での仕事は、WEB 上で内装デザインを顧客に提案するシステムに関するものだった。しかし、3 年目ごろから、周囲の人達は内装関係のデザイン専門のセンスをもっている人が多く、自分の力不足を感じ始めた。このままではまずいと思い上司とも話し合いをした。丁度その時、間接部門の人員増員計画があったことから、上司の計らいで、事業推進室に異動した。

事業推進室では、国内外の製品の調査やラインアップ、製品パンフレットの作成が主な担当業務であった。他には年 1 回実施する、事業説明会の運営を担当してきた。しかし最近、別な部署に異動したいと思うようになってきた。

（別な部署に異動したいと思っているようですが、それはどうしてですか？）

「事業推進室での仕事って、新製品を調査して体系をつくらなければならないので難しいんです。製品のラインアップをしても、それを使う現場の人達からは、このレベルじゃ使えない、もっと詳しく説明してほしい、製品の普及率はどうなのか、などと細かいレベルまで求められます。建築やデザインの詳しい専門知識がないとできないので、かなり難しいです。」

（専門の知識がないとできないので、難しいと感じているのですね。）

「ええ、そうなんです。専門学校の時は、流行のWEB デザインをやっているとと思ってました。入社したら、まわりの人達って、独特のセンスがあるし、発想もスゴイんです。最初はどうかかなと思っていたのですが、センスはどうにもならないって思うようになりました。自信もなくして、辞めようかとも思ったんですが、上司に話したら、ちょうど間接部門の空きがあるので、異動してはどうかって言われて…、それもいいかと思い、異動しました。」

（異動先のお仕事はあまり知らずに異動したのですね。）

「ええ、異動前に、人事部長と異動先上司との面談もあって、業務推進室の仕事の説明は受けましたが、実際のところは、あんまりわかっていなかったんです。異動すればどうかかなるか、ぐらいの気持ちでした。」

（実際にやってみたら大変だったのですね。）

「そうです。大変です。このまま続けることはどうかなって最近思うようになって…。い

ずれは違う仕事で独立して…、なんて思っているんです」

(独立とおっしゃいますと?)

「今は年1回の事業計画会の運営をやっていますが、事業部から提出される事業計画を読むのは面白いし、かっこいいな、なんて。いずれ自分で事業計画を作成して経営するような仕事をするなら独立することかな、なんて考えたりして…」

(具体的な計画はあるのですか?)

「うーん、特には…。家族もいるので今すぐは無理だと思うんですが、お金を貯めて、ですかね。独立するにはやっぱり税理士とか中小企業診断士とかの資格とかとおいたほうがいいですかね…。でも勉強する時間もないし、今の部署で仕事するのはモチベーションも上がらないので、勉強のためにも違う部署で仕事をしたいと思っていますんです。」

(違う部署で働きたいと思っていますのですね。)

「経理部とかに異動できますかね。細かい仕事の内容はわからないんですけど…」

(異動できるかどうか、私にはわかりませんが、経理部の実際の仕事内容もわからないのであれば、経理部の人に聞いてみるのはどうですか?それから、もう一度今の部署で、モチベーションを上げることを考えてみましょう。)

「そうなんですかね…。でも異動できますかね。」と言って面談を終了した。

### 【その後の経過】

その後、Bさんは次回の予定日に現れず、自分で具体的な行動を起しているようにも見受けられなかった。

### 【所感】

Bさんとの面談で、現状の仕事に対する気持ちに寄り添えたと思っている。業務に苦手意識を感じモチベーションが下がっている相談者に、現在の会社で働き続けられるよう支援したいと思っていたが、自分自身で行動できないのであれば仕方がないのかと限界を感じている。

- 問1 この事例相談者が抱えている問題は何か、あなたの考えを記述せよ。(10点)
- 問2 この事例相談者が抱えている問題に対して、どのような目標を設定するか、具体的に記述せよ。(10点)
- 問3 事例相談者に対して設定した目標を達成するために、効果的な支援を行う方法、内容を具体的に記述せよ。(10点)
- 問4 事例相談者が課題を解決できるネットワーク(関係機関や関係者等)は何か、その根拠を含めて記述せよ。(10点)
- 問5 「相談者がおかれた環境を事例相談者がどうみているか」という観点から、その問題に対してどのような働きかけが考えられるか、具体的に記述せよ。(10点)

### 事例 3 : 【選択問題(需給調整機関分野)】

次の文章は、事例相談者（キャリア・コンサルタント:女性 45 歳、相談歴 2 年）が事例指導を受けるためにまとめた事例である。この事例を読み、以下の問いに答えなさい。解答は指定された解答用紙（選択問題）に記述すること。解答用紙（選択問題）の選択した分野は「需給調整機関分野」を○で囲むこと(○がついていない場合、採点されません)。

相談者：C（女:46 歳）短大（家政科）卒業。現在は特別養護老人ホームに正社員として勤務。

家族：母(73 歳)、父(10 年前に他界)、長男(大学 1 年、下宿)、夫とは 7 年前に離婚。

#### 【来談経緯】

5 年前ハローワークで今の職場を紹介され契約社員として就職。去年、息子が大学に入学し家を出たこともあり夜勤のある正社員にしてもらった。最近母親の認知が怪しくなってきたと感じていて、一人にしておくことに不安がある。また夜勤は思っていた以上に体力的に負担がある。転職について考え始め、需給調整機関に相談に来た。

#### 【面接経過】（ ）内はキャリア・コンサルタントの発言、「 」内は相談者の発言

C さんから、息子の大学の費用や下宿代でお金がかかるので、正社員にしてもらえたことは嬉しかったが、夜勤後の体調のコントロールに苦慮している、体力には自信があっただけにショックでこのまま仕事を続けていくのに不安であることが述べられた。

（このまま仕事を続けていくのに不安を持ったのですね。）

「はい、夜勤は人数も少なく責任がかかるので緊張の連続です。くたくたなので家に帰ってからすぐに寝たいのに、なかなか寝付けないこともあります。その上、家には母が居るので、すぐに寝ようと思っても何かと話しかけてきて、睡眠時間が取れずイライラします。母には今まで家事を手伝ってもらっていましたが、最近はおっくうなようで…。それに最近母の様子がおかしいんです。お鍋を焦がしてしまったり、物忘れもひどくなってきて、仕事中の私の携帯に用事もないのに何度も電話をかけてきたりするようになって。先日は、着信履歴が 7 件も入っていてびっくりしました。こんな母をほったらかしにして仕事をしているのか…。でも、正社員にしてもらったばかりなので職場に何かお願いすることには抵抗があります。妹がいるのですが結婚してご主人の両親と同居しているので頼めないし。この仕事を続けるのは無理なのかな、別の働き方も考えなければいけないのではと悩み始めたのです…。」

（転職した方がいいのではと悩みはじめたのですね。）

「そうですね、転職できるでしょうか。息子が卒業するまでは収入がないと困ります。自分の老後のことも心配です。でも、この年齢で今までたいした仕事もしてきてないですし、どんな仕事が自分に向いているのか分からないです。」

（自分に向いたお仕事が分からなくて悩んでいるのですね、今まで介護の仕事以外されたことがありますか。）

「短大を卒業後はアパレル販売の仕事をしていました。余り経済的なことは考えていなく

て、毎日楽しく好きなことをしている感じでした。それから結婚退職して、子育て中は専業主婦でしたし…。7年前の離婚を機に仕事を探したのですが、何のスキルも無い私では、まともに雇ってくれるところは見つかりませんでした。それで、近所のスーパーや飲食店でアルバイトをしていました。こんな感じで、きちんと働いたのは今回が初めてなのです。転職すると言っても以前のような仕事はちょっと…。」

（そうですか、以前は主に販売の仕事をされておられたのですね。今はどんな仕事をするにもパソコンが必要だと思いますが、パソコンは使えますか？）

「メールのやり取り程度はできますが、きちんと勉強をしたことはないですし、パソコンを使うような仕事はしたことがありません。やはりパソコンが使えないと他の仕事は難しいのですよね。それにあまり得意じゃないので今から勉強するのは気が重いです。今のところで頑張るしかないのかなあ…。」

（そんなことはありませんよ、Cさんに合っている仕事を一緒に探しましょう。次回、職業興味・適性検査をしてCさんにどんな仕事に向いているのか調べてみましょう。）

キャリア・コンサルタントはCさんの転職への自信の無さが伝わったので励ますことに努めた。そして、これまでの仕事内容の詳細を聴き、スキルの整理、やりがいなどを確認した。様々な職種についての説明を加えながら、どんな仕事に興味・関心があるのかも聞いてみた。Cさんからは、人と接することが好きでコミュニケーション能力には自信がある事などの話があった。Cさんは職業経験も少なく、自己理解や職業理解がまだ十分ではないと考え、次回につなげた。

### 【所感】

Cさんは今の仕事を続けていくことに不安を感じ、転職を希望している。キャリア・コンサルタントは希望にあう仕事に就けるよう援助したいと思っていた。しかし、Cさんは仕事が休めないことを理由に面接をキャンセルし、その後来談しなかった。面談に何か問題があったのではと反省している。

- 問1 この事例相談者が抱えている問題は何か、あなたの考えを記述せよ。(10点)
- 問2 この事例相談者が抱えている問題に対して、どのような目標を設定するか、具体的に記述せよ。(10点)
- 問3 事例相談者に対して設定した目標を達成するために、効果的な支援を行う方法、内容を具体的に記述せよ。(10点)
- 問4 事例相談者が課題を解決できるネットワーク（関係機関や関係者等）は何か、その根拠を含めて記述せよ。(10点)
- 問5 「相談者がおかれた環境を事例相談者がどうみているか」という観点から、その問題に対してどのような働きかけが考えられるか、具体的に記述せよ。(10点)

## 事例 4：【選択問題（教育機関分野）】

次の文章は、事例（キャリア・コンサルタント：男性 33 歳 相談歴 2 年）が事例指導を受けるためにまとめた事例である。この事例を読み、以下の問いに答えなさい。解答は指定された解答用紙（選択問題）に記述すること。解答用紙（選択問題）の選択した分野は「教育機関分野」を○で囲むこと（○がついていない場合、採点されません）。

相談者：D（女：21 歳）、Y 大学文学部英文科 4 年生 201X 年 4 月来談  
家族：父（公務員）、母（公務員）、兄

### 【来談経緯】

D さんは X-1 年 12 月から就職活動を開始し今まで 15 社に応募。その中で 1 社に内定をもらったが希望する仕事内容ではないことを理由に内定を辞退しても良いのか教えて欲しいとのことだった。

### 【面接経過】（ ）内はキャリア・コンサルタントの発言、「 」内は相談者の発言

キャリアセンターへは初めて来たのでやや緊張している様子。おっとりした女子学生という印象。緊張を和らげるために笑顔で迎え、一旦今までの就職活動経過をヒアリングする。X-1 年 12 月から就活ネットを利用したり、外部セミナーへ出席したりしながら自力でエントリーシートを書き 15 社ほど応募した。

第一志望は信用金庫の総合職で、3 社に応募したがいずれもエントリーシートが通過しなかった。（何故信金\*なのか）と尋ねると「土日が休みで実家から通えるし、親は自分が公務員だからか、安定した所が良いと言われている。滑り止めで受けていたベンダーの会社に内定をもらったけれど、親からは反対された。今は 10 社ほど進行中で、IT 系の商社（営業職）、大手部品メーカーの営業職などがエントリーシートは通って面接待ち。業界は様々だが仕事は営業職を希望している。」とのことだった。（営業は大変だと思うけれど、何故営業をやりたいのですか。）の質問には、「今は大手部品メーカーの営業が良いなと思っている。先輩に話を聞くと、顧客が決まっていて、新規営業はないのでお客さんとも仲良くなれるし、全国規模の有名な会社だと親も安心するから。」という返事だった。状況が大体つかめたので本日の相談目的に絞って進めることにした。

（まだ進行中の会社もあるけれど取りあえず内定が出て良かったですね。でも折角内定を貰ったのに勿体ないですね。あなたがやりたい営業の仕事ではないのですか。）

「そうなのですが、営業といっても車の運転を伴う配送業務が中心なので親からも危険なのでやめなさいと言われました。自分でもちょっと違うなと思ったので、どうしたら良いのかなと。」

（営業と言ってもいろいろだから、もう少し企業研究しないとね。ところで営業職を中心に応募しているみたいだけど、販売職の方が向いているのではないのですか？販売も大きなくくりで考えれば営業の一つだし、何より危なくないし。）

「販売のバイトをしたこともあるので嫌いではないのですが、法人相手の営業が良いと思っています。」とはっきり答えた。

(そうですか、では、営業の仕事のどんなところに興味があるのでしょうか。)

「興味?…会社の中心は営業だとセミナーなどでも言ってたので私もやってみたいと思ったんです…。でも今はこんな人たちと働きたいと思えるかどうか、仕事に興味がなくとも雰囲気の良い所なら働いてみたいです、信金\*が良いなと思ったのも雰囲気が良かったから。」

(でも雰囲気は入って見ないと分からないですよ。)

「そうですかね…。今、新たに大学の友人が所属しているゼミの先生に勧められた金融機関に応募しています。ノルマがあるみたいなので心配はありますが、先生が勧めてくれたので大丈夫だと思っています。大手の保険会社も良いかなとも思っています。」

(まだまだ応募しようという気持は強いんですね。)

「友人は第一志望に落ちた時にかなり立ち直れない状況でしたけれど、私はそうでもないかも…。信金\*もそんなに行きたかった訳でもないし。周りに影響されないようにしようと思っているから。」

(ところで今日の相談は内定した会社にどう断るかと言うことだったのですが、こうは考えられませんか、内定を出すということは会社があなたに来て欲しいということだと思います。なので、仕事の内容をしっかりと調べてみると配送業務だけではないかもしれませんよ。すぐ断るのは勿体ないと思います。だって営業職が良いのでしょうか。)

「でも、やっぱり余り気乗りがしないし、断ったほうがいいのか。親もやめておけと言っているのです。もし、先生の紹介先と大手部品メーカーが駄目だったら、ハローワークにも行って企業を探そうと思っています。」

(そうですか、ではハローワークで良い会社があったら相談に乗りますよ。)

「分かりました、また来ます。」と言ってキャリアセンターを後にした。その後の来談はない。

\*「信金」は信用金庫の略後として使用している。

## 【所感】

内定辞退はもう少し先にしてもいいのではとアドバイスをしたが受け入れてもらえなかった。時期が4月ということもあり、就職環境も厳しいため、全体的にやや強制的な面が出てしまったと感じているが、どのような対応が良かったのだろうか。

- 問1 この事例相談者が抱えている問題は何か、あなたの考えを記述せよ。(10点)
- 問2 この事例相談者が抱えている問題に対して、どのような目標を設定するか、具体的に記述せよ。(10点)
- 問3 事例相談者に対して設定した目標を達成するために、効果的な支援を行う方法、内容を具体的に記述せよ。(10点)
- 問4 事例相談者が課題を解決できるネットワーク(関係機関や関係者等)は何か、その根拠を含めて記述せよ。(10点)
- 問5 「相談者がおかれた環境を事例相談者がどうみているか」という観点から、その問題に対してどのような働きかけが考えられるか、具体的に記述せよ。(10点)

